

印刷入稿データ作成の手引き

※データは Adobe（アドビ社）の Illustrator で作成の上、基本的には完全データ支給でお願いいたします。

完全データ概要

1. 入稿用テンプレートがある場合、必ず使用して ai データ（イラストレーター）でご入稿ください。
2. 文字は必ずすべてアウトライン化して入稿してください。アウトライン化せずに入稿されると文字化けの原因になります。
3. イラストレーターの効果の固定化（アピアランスの分割等）をしてください。データの破損・トラブルの原因になります。
4. 画像データはリンクで配置し、レイアウトデータと一緒にフォルダに入れてください。（画像埋め込みでも可）
5. 色指定がある場合は DIC カラー、PANTONE カラー（Solid 推奨）、現物色見本（配送）での指定をお願いいたします



ai データ

カラーモード

CMYK（※RGBは不可）

デザイン
サイズ

仕上がりサイズから
上下左右に2mmずつ余分にデザインを作成してください。（塗り足し）
※製品形態の仕様にあわせて、塗り足しの追加や仕上がりから内側2mmを削除とする場合がございます。



画像を使用
する場合

カラーモード

CMYK、グレースケール（※RGBは不可）

データ形式

EPS・PSD・JPEG・TIFF

解像度

350dpi 推奨（※それ以上・以下の場合はモアレ・粗いなど画質に影響が出る恐れがあります。）

イラレに配置

リンク・埋め込み（どちらでも可）

入稿データ
作成時の
注意点

- デザインオブジェクト、文字の線幅は
デジタル印刷＝0.2ポイント以上、グラビア印刷＝0.5ポイント以上の太さにしてください。
（それ以下ですとカスレ、色ブレの原因になります。）
- スウォッチの特色はプロセスカラー（グローバル）に変更してください。
（スウォッチの特色をWクリックし、カラータイプを”特色”から”プロセスカラー”へ変更してください。）
- 効果はアピアランス分割してください。（ワーブやドロップシャドウ等）
（該当オブジェクトを選択し、オブジェクト>アピアランス分割をクリック）
- パターンは分割・拡張してください。（スウォッチのパターンのことです。）
（該当オブジェクトを選択し、オブジェクト>分割・拡張...をクリック）
- 文字をアウトライン化してください。

※上記の処理がされていない場合や、誤ってオーバープリント設定されていた場合など、正しく処理・設定されていないと思われ結果となってしまう場合がございますので、データ作成時にご注意ください。

データ
入稿時の
注意点



- イラストレーターの弊社使用バージョンは Illustrator CS5～6、CC となっております。
作成されたバージョンのご連絡をお願いします。 ※CCは「CC2020」など0000年の情報をお願いします。
- データは必ず圧縮してください。 圧縮形式は zip形式にてお願いします。
- 不必要なデータはトラブルの原因となりますので、一緒に入れないようお願いします。
- 画像を”リンク”で配置した場合、画像データも忘れずに入稿をお願いします。
- 確認用のPDF（またはJPEG）も忘れずに入稿をお願いします。
- 色指定はDICカラー、PANTONEカラー（「Solid」推奨 ※弊社カラーチップ所持）での指定をお願いします。
または色見本となる現物をお送りください。
※できる限り指定色に合わせますが、プロセスカラー（CMYK）+白での印刷となりますので、表現できる色に
限界がありますことをご承知おきください。
- ダミーデータ（印刷不要データ）がIllustrator上にある場合、ご説明いただかない限りはそのまま
印刷されますので、”印刷不要”などの希望がある場合は明確にご指示をお願いします。
- 白版のヌキ指定（アルミ地を活かす等）がある場合はわかりやすくご指示をお願いします。
[指示例] ・データ上に指示をする（白版を特色設定(プロセスカラー(グローバル)へ変換したもの)+説明書き）
・カンパに指示を記載し、スキャンした書類をPDFで添付する
- 再入稿・改版の際にデータのみですと確認に時間を要しますので必ず変更内容のご連絡をお願いします。
[説明例] ・色は前回通り、裏面の文字修正。 など概ねの変更内容で構いません。
※Illustratorでレイヤー分けする、デザイン余白に記載する。メール本文に記載する。等のような方法でも結構です。
※入稿時と同様にIllustrator使用不可の環境でも確認できるよう確認用のPDF(またはJPEG)の添付をお願いします。